

三者協議会（令和6年度第1回）概要

日 時：令和6年6月20日（木）13時30分～15時

場 所：本部管理棟3階 第2会議室

出席者：あずさ監査法人岸田パートナー、玉垣パートナー、中野シニアマネージャー
三野監事、大久保監事、三谷監事

榊理事長、宮下大学総括理事、大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：沓澤事務局次長、幸田財務課長、河上財務・企画課長、西俣財務課総務・決算係長、
岩阪監査室長

概 要

監査法人から、資料に基づき第20期監査結果概要について報告があった後、質疑応答が行われた。

その中で、監査法人から、会計帳簿に記録されていない銀行口座が確認されたが、本来は大学の帳簿で動きを明らかにするものであり、入出金内容にある教育実習費の受入手続の規定整備や銀行口座開設に関する内部統制の整備・運用状況を確認するよう指摘があった。これに対し榎本理事から、大学として財務担当理事の下で財務担当課とともに実態を解明するとの発言があった。

また、図書の実査について、新たに検出された所在不明図書の冊数が相当に多いことへの質問があった。監査法人から、資産に計上するというのは大学として管理するということ、従前から言っているにもかかわらず進まないのは実査のルール自体を考え直さないといけないということではないかとの指摘があった。これに対し高田学長から、図書現場と相談してこれまでと違うやり方を工夫したいとの発言があった。

監事と理事長、役員等との意見交換（令和6年度第1回）

令和6年7月25日（木） 14時～15時

場 所：本部管理棟3階 第1会議室

出席者：三野監事、大久保監事、三谷監事

榊理事長、宮下大学総括理事、高田大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：沓澤事務次長、岩阪監査室長、太田監査係長

概 要

「研究費の不正使用防止対策について」をテーマに意見交換が行われた。

その中で監事から、両大学で不正防止対策推進組織の構成員が異なること等について指摘があった。

役員からは、大学院生への研究インテグリティの研修など、教育の全体像を把握し、共通理解を図ることが大切との発言があった。

三者協議会（令和6年度第2回）概要

日 時：2024年10月31日（木） 15時～16時20分

場 所：本部管理棟3階 第一会議室

出席者：あずさ監査法人 杉田パートナー、玉垣パートナー、瀬藤マネジャー
青山監事、大久保監事

榊理事長、宮下総括理事、高田総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：幸田財務課長、岩坂監査室長、太田監査室監査係長

概 要

あずさ監査法人から、資料に基づき第21期監査計画について説明があった。

昨年度からの変更箇所として、「附属学校のガバナンス体制及び図書実査について」の項目が追加された。期末監査で判明した教育大附属中学校の簿外口座の件を受けて、今期の監査では金融機関の保有口座に残高があるか、認識していない口座があるか注視したいとのことであった。

引き続き、監査室長から資料に基づき第4期中期目標・中期計画の進捗及び達成に向けて認識している課題など法人運営環境等について説明があった後、意見交換が行われた。

監事と理事長、役員等との意見交換（令和6年度第2回）

令和6年11月25日（月） 14時～15時15分

場 所：本部管理棟3階 第1会議室

出席者：青山監事、大久保監事

榊理事長、宮下大学総括理事、高田大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：沓澤事務次長、岩阪監査室長、太田監査係長

概 要

冒頭に監事より、大学の規模と運営に関する話題提供があった後、意見交換が行われた。

その中で、予算については当機構に限らず喫緊の課題であるが、経営的な工夫が規模の大きい大学以上に必要であるとの意見があった。これに対して、両大学の対応の方向性を今後、集中的に議論したいとの発言があった。

監事と理事長、役員等との意見交換（令和6年度第3回）

令和7年2月27日（木） 15時50分～17時

場 所：本部管理棟3階 第1会議室

出席者：青山監事、大久保監事、菅監事

榊理事長、宮下大学総括理事、高田大学総括理事、榎本理事、西村理事

陪席者：沓澤事務次長、岩阪監査室長、太田監査係長

概 要

教務システムの統合など、監事監査を通じた重要事項をテーマに意見交換が行われた。

その中で、シラバス登録や休講連絡等すべての作業で同じポータルサイトに統一することや両大学で同じ教務システムを利用すること等、ソフトウェア面の機能向上により両大学の科目の連携がスムーズになるのではとの意見や、教育の連携につなげるために何をすべきかと、その環境づくりとして教務システムをどうするか平行して検討が必要との意見があった。

また、教育の連携に関して、教養科目については学生が大学で受ける教育として必要な科目のリストアップと、それらがこういった形態で学べるかを検討していく必要があるとの意見があった。